

紅 陵

第 140 号 令和7年5月2日発行
編集 岐阜県立土岐紅陵高等学校
TEL 0572(57)7131
<http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/tokikoryo-hs>
責任者 PTA 会長 加藤 美由紀

御挨拶

校 長 木澤 朗



令和5、6年度の2年間、土岐紅陵高等学校の教頭として勤めさせていただき、今年度4月1日より校長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

教頭と校長の大きな相違の一つに、生徒、保護者及び職員の前で話す機会が圧倒的に増えたことがあります。それぞれの言葉に意味を持たせ、端的に意図を伝えなければなりません。選ぶ言葉を大事にしなければならぬとつくづく感じています。

先日、「言葉の重要性」を強く感じさせられた出来事がありました。3月14日の高等学校入学者選抜（いわゆる高校入試）、本校の合格者説明会においてのことです。合格者の皆さんと保護者の皆様に、本校から入学に向けた様々な準備の説明をさせていただきました。その中に、生徒指導主事から高校生としての心構えの話があったのですが、話が終わった後に会場の皆さんから、自然発生的に拍手が起きたのです。本校の生徒指導主事は、生徒に熱く語る一方で、寄り添う姿勢も欠かさないので、話に説得力があります。しかし初対面の上、高校生活の在り方を説いた話で拍手が起きたことには大変驚きました。ただ、話の中の言葉の一つ一つが十分に吟味され、合格者への歓迎と高校生活への期待が短時間内に凝縮されていたので、皆さんの共感と呼び拍手につながったのだと理解できました。改めて「言葉の重要性」を実感しました。

そこで、私の言葉選びです。まず4月1日の職員会議で、先生方への挨拶で所信表明を含めて思いを伝えなければなりません。私は先生方に向けて「継続」との言葉にメッセージを込めました。2年前の教頭着任時に、先生方から「紅陵高校を、生徒が誇りに思うことができる学校にしたい」といった強い思い・エネルギーを感じました。現在本校では、先生方のその強い思い・エネルギーをベースに、生徒に軸足を置いた様々な教育活動が展開されています。

今年度は、これを「維持」ではなく、「継続」して欲しいと伝えたのです。組織の新しいリーダーは、着任すると「改革・改善」を掲げることがよくありますが、私にとっては敢えてそれを掲げずとも、生徒に軸足を置いて、変化することを厭わずチャレンジする姿勢を「継続」すれば、土岐紅陵高校が益々輝くと信じて、先生方にこの言葉をお伝えしました。

そして迎えた4月8日午前の始業式では、2・3年生に次のように話をしました。「今、土岐紅陵高校は、元気で勢いのある学校である。この学校の生徒、そして先生方のことを、私は岐阜県内の誰よりも知っている。そして、誰よりも土岐紅陵高校の進むべき道を知っている。そのサポートをすることが私の使命である」と。生徒の皆さんが、安心して学校生活を過ごし、紅陵高校を誇りに思うことができるように、全力で支援する意思を言葉に込めました。

午後の入学式は、希望と不安を胸に高校生活をスタートする新入生とその保護者の方々に、高校生活で身に着けてほしい＜視点＞について話をしました。私が先輩教員から受けた【見えないところが見える人であれ】との教えです。今年度の入学式当日は、見事に校地内の桜が咲き誇り、新入生の入学を歓迎してくれました。ただし桜が開花するには、半年以上前の前年夏に花芽をつけることから始まり、休眠状態を経て徐々に高くなる気温に合わせて休眠打破と段階を踏みます。そして開花となります。この桜開花のメカニズムから学ぶことができるのは、華やかな一面にだけ目を奪われてはいけないということです。今この時だけではなく、今に至るまでの見えなかった準備過程にも意味があり、そこにも思いを巡らせたいとの教訓です。【見えないところが見える】とはそういう＜視点＞であることをお伝えしました。

私には今年度から、話す言葉に意味を持たせ、思いを乗せ、端的に意図を伝える責務があるのだと肝に銘じております。本日のPTA総会を含め、様々な場面でお話をさせていただきます。選ぶ言葉を大事にし、さらに言葉には「感情」を込め、「言葉の重要性」を十分に理解して生徒の皆さん及び保護者の皆様とお話をさせていただきます。

入学おめでとう！

各地では桜の開花とともに、春のお祭りが行われる季節となりました。4月8日、本校の校庭の桜も咲き誇り、鳥のさえずりが春のさわやかさをいっそう際立たせ、新入生を迎えるにふさわしい日となりました。真新しい制服を着た新入生が、喜びと緊張感の入り交じった表情で登校してきました。

午後1時、男子32名、女子47名の新1年生を迎えて、入学式が挙行されました。木澤校長より入学許可宣言がなされた後、厳粛な中にも心温まる歓迎の言葉がかけられました。そして、新入生代表の柳澤真妃さんが、力強く入学の宣言をしました。下の写真はその時の様子です。

29年目に入った総合学科の新入生に、中学生までの自分、そして、これからの自分を、どのように捉えているのか作文にしてもらいました。2名の作文を紹介します。



これまでの私 これからの私

1 年 1 組 1 1 番 小林柚菜

私は中学校生活の中で、毎年必ず何かのリーダーとしての役割を果たしてきました。学級委員や委員長など、人の前に立ってみんなを引っ張る立場になることは簡単なことではありませんでしたが、その分やりがいも大きく、自分を成長させる良い経験になりました。

また、勉強においても、自分の納得できる結果が出せるように、自習室を活用して努力を重ねました。とくに受検前は、毎日コツコツと勉強を積み重ねた結果、第一志望の高校に合格することができました。努力を見ていてくれた仲間たちからの信頼を得られたことも大きな自信につながりました。

高校では、中学一年生のころからの夢である「韓国やハングルに関わる仕事」に近づくための第一歩として、質の高い勉強を心がけていきたいと思っています。二年生から始まる選択科目ではハングル語を選び、基礎からしっかりと学びたいです。そして、将来の進路を見据えながら、毎日の授業や課題にも全力で取り組みたいです。

高校生活では新しい環境の中で戸惑うこともあると思いますが、中学校で得た経験と自信をもとに自分の夢に向かって、一步ずつ着実に進んでいきたいと思っています。そのために、毎日の小さな努力も大切にしていきたいです。

1 年 3 組 6 番 片野美空

私が中学校で一番頑張ったことは、二つのことに挑戦したことです。

一つ目は、私の主張大会でのスピーチについてです。この大会は、多くの人の前で自分の考えや意見を発表する場であり、正直始めはとても緊張しました。しかし、スピーチの準備を通じて自分の意見を整理し、表現する力を磨くことができました。この経験は、自信を持って自分の考えを伝える大切さを教えてくれました。

二つ目は、税についての作文に挑戦したことです。税に関するテーマは普段あまり考える機会がなく、最初は何から始めていいのか分かりませんでした。しかし、調べ学びながら、自分の考えを文章にまとめる作業はとても充実したものでした。そして、思いがけず良い賞をいただくことができ、とてもうれしかったです。この経験を通じて、努力や挑戦が結果に結びつくことを実感し、自分自身の成長を感じました。

これから高校に進学するにあたって、私は「責任をもって最後までやり切ることを」心がけて頑張りたいと思っています。高校生活は中学校に比べて、より多くの選択肢や自由がありますが、その分、自分自身が責任を持つことが求められます。なので私は、常に自分の行動に責任を持ち、最後までやり遂げる意思を大切にしたいです。これにより、自分自身が成長できるだけでなく、周りの人々にも良い影響を与えられる存在になりたいと思います。

中学校での経験を活かしつつ、高校では責任感を持ち、挑戦し続ける自分をつくり上げていきたいです。これからの高校生活を通じて、多くの成長と出会いが待っていることを楽しみにしています。私は、自らの目標に向かって努力し続け、充実した高校生活を送れるように頑張りたいです。

学 級 担 任

		1 年	2 年	3 年
学年主任		福井 恵一	細川 万穂	加藤 健二
1 組	正 副	山田 仁美 三宅 李乃	細井 祐花 濱田 真成	内山 久子 井上 裕美子
2 組	正 副	小田中 悠真 高橋 俊和	花井 明日香 加藤 緑	坂野 未来 薄田 直樹
3 組	正 副	堅野 菜月 白川 功貴	内記 康希 田内 香織	伊藤 翔真 田嶋 大樹
学年付副担任		高橋 廣和	石崎 吉一	稲垣 あけみ
		続木 紀美子	高森 賢	大霜 海斗
		安藤 みゆき	鈴木 茂博	



演劇ワークショップ

部 活 動 顧 問

茶道	山田仁美 稲垣あけみ <野々村勉>
吹奏楽	細井祐花 高橋俊和
美術	井上裕美子 内山久子
漫画研究	鈴木茂博 堅野菜月 <肥田有香>
演劇	花井明日香 大宮学
卓球	加藤健二 安藤みゆき
バスケットボール	福井恵一 坂野未来
バレーボール	白川功貴 田嶋大樹 高橋 廣和
弓道	石崎吉一 三宅李乃 <虎澤敏彦>
野球	内記康希 小田中悠真 金子浩隆 (伊藤翔真)
ウェイトリフティング	伊藤翔真 細川万穂 続木紀美子 <戸松伸隆>
サッカー	坂崎陽祐 大霜海斗
能力開花	高森 賢
e スポーツ	田内香織 薄田直樹

< >は部活動非常勤講師



課題解決発表会



転出・退職された先生方

野々村 健	商 業	退職
貝川 和生	実 習 助 手	退職
田中 誠二	校 長	多治見北高等学校
荻曾 翔	保 健 体 育	加茂農林高等学校
佐藤 純子	英 語	可児工業高等学校
窪田 梨紗	事 務	東濃保健所

新転任の先生方紹介

①教科 ②前任校

清水 香織 教頭

① 国語 ② 多治見高等学校



多治見高等学校より異動してきました。始業式での元気な笑顔、温かな拍手に、土岐紅陵高校の生徒が大好きになりました。皆さんのためにできることを、一生懸命させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

高森 賢先生

① 保健体育 ② 中津川工業高等学校
中津川工業高校より異動してきました。よろしくお願いします。



三宅 李乃 先生

① 国語 ② 新規採用



新規採用で常勤講師としてお世話になります。不安なこともたくさんありますが、皆さんとの学校生活がとても楽しみです。

花井 明日香先生

① 芸術 ② 新規採用



今年度よりお世話になります。新しい環境に早く慣れるよう楽しく全力で頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。

高橋 廣和先生

① 英語 ② 恵那高等学校



恵那高校より異動してきました。20数年ぶりに土岐紅陵に帰ってきました。ゆっくりとできることをできるようにやっていきたいと考えています。よろしくお願いします。

大霜 海斗先生

① 総合学科実習助手 ② 新規採用助手



新規採用の総合実習助手としてお世話になります。分からないことばかりですが、自分の全力を常に出し切り生徒に寄り添えるよう取り組みたいと思います。よろしくお願いいたします。

内記 康希先生

① 商業 ② 東濃実業高等学校



東濃実業高校より異動してきました。少しでも生徒の成長に貢献できるように全力を尽くし、何事にも情熱をもって取り組みたいと思います。よろしくお願いします。

市原 幸胤先生

① 事務 ② 中津川工業高等学校



中津川工業高等学校から異動してきました。微力ながら環境整備の面から生徒の皆さんのお力になればと思っています。よろしくお願いします。